

令和6年度
根室市卓越技能者
根室市中小企業勤労者永年勤続
表彰式



市長から表彰状を受け取る受賞者のみなさん

11月21日、根室市総合文化会館多目的ホールにおいて、令和6年度根室市卓越技能者・中小企業勤労者永年勤続表彰式が執り行われました。

卓越技能者表彰は、同じ職種で15年以上実務を経験する40歳以上が対象で、昭和44年度から実施され、令和5年度まで379名が受賞されています。

また、中小企業勤労者永年勤続表彰は、同じ事業所に20年以上勤務する35歳以上が対象で、昭和50年度から実施され、令和5年度まで590名が受賞されています。

今年度は卓越技能者表彰で5名、中小企業勤労者永年勤続表彰で4名の方々が受賞されました（表彰式には7名が出席）。

式は、市民憲章朗唱、市歌斉唱、市長式辞、選考経過報告、表彰と続き、来賓からの祝辞の後、受賞者から謝辞の申し出がありました。

受賞者を代表された方は、職場の皆さん、家族とともに、受賞を契機に今後とも更なる研鑽に努めると、力強く述べられました。

紙 智子「国会かけある記」 2024年11月25日

農業・漁業者の声国会へ



参議院議員 紙 智子

22、23両日、オホーツク地域で農漁業調査を行いました。佐呂間町で漁業調査、北見市と訓子府町で酪農・畑作調査、訓子府町前町長の菊地一春さんとの対談など、貴重で濃厚な2日間となりました。

あらためて感じたのは、気候変動が漁業や農業に与える影響です。

佐呂間漁協では、海水温上昇による影響でホタテの稚貝の生育が遅れています。原因の究明、気象条件に見合う採苗技術の確立、情報提供システムの開発などが課題です。大量に発生する貝殻対策も模索が続いています。

秋サケ資源の減少については、費用や研究の継続性に課題があり、国としての推進体制をつくってほしいと要望が出されました。最も困っているのは魚が獲れないこと、収入がなければ漁師を続けられません。

ビートは生産抑制政策が続いています。北海道の輪作体系（イモ、麦、ビート、豆などローテーションで連作障害を防ぎながら生産する方法）を守るためにも必要な作物です。砂糖が余っているという理屈ですが、生産者は納得していません。

酪農の危機も脱していません。資材費（肥料や飼料等）に所得が追いついていません。生産抑制しているのにバターを輸入していることにも批判が出ています。次の世代も経営が成り立つように、国の支援が必要です。国会でも取り上げたいと思います。